

フットボールスタジアム検討協議会 第3回会議

令和8年7月26日 岡山県庁3階大会議室



次 第

1 開会

2 スタジアムの必要性及びありたい姿に係る自由討議

【事務局からの報告事項】

- ・フットボールスタジアムの整備に関する
県民アンケート調査結果（速報）
- ・参考事例
- ・動員数分析

3 まとめ・事務連絡

4 閉会

県民アンケート（速報） | 調査概要

調査の目的

- 県民から**多様な意見**を集め、論点を整理することで、**協議会での今後の議論における検討材料**とする。
- スタジアム整備に向けた議論・検討が行われていることを**県民に周知する機会**としても捉え、**県民による議論への参加や「自分事化」**を促す。
- 賛成/反対の数や割合を調べるためのものではない。**



調査内容・方法

- 回答者の属性を明記した上で、無記名でフットボールスタジアムの検討を進めていることについて、期待していること、心配していることなど、その理由も含めて自由に記述。
- ウェブアンケートを基本としつつ、誰もが参加しやすいようにするために、紙媒体（FAX・郵便）での提出も受け付ける。

実施期間・対象

- 令和8年6月22日（月）から7月24日（金）まで
※期間終了後も、フォームからの回答を受け付ける。
- 主に岡山県民を対象とするが、今後の議論の参考とするため県外在住者も対象とする。

現時点の集計状況 （7月17日 17時00分時点）

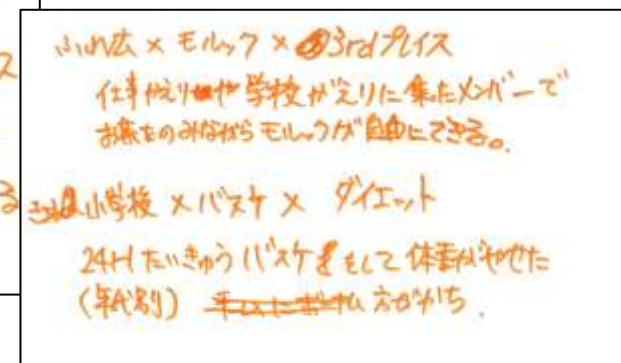
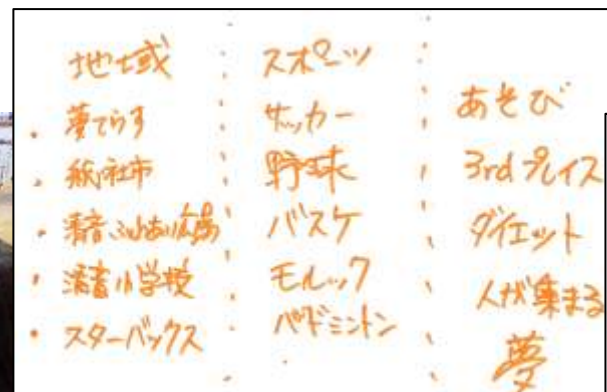
- 回答総数：9,163件
 - うち ウェブアンケート : 9,059件
 - うち FAX・郵便 : 104件

※県立高校生制作の毛筆文字及びイラストをポスター等に使用

県民アンケート（速報） | 座談会の実施

座談会の概要

- ・ 企画名 地域のスポーツの未来を考える座談会
- ・ 日 時 令和8年6月28日（日） 17時30分～18時50分
- ・ 会 場 きよね夢てらす（総社市清音軽部666-6）
- ・ 参加者 総合型地域スポーツクラブ「きよねスポーツくらぶ」会員など42名（10歳～74歳）
- ・ 内 容 地域で世代を超えて、好きなレベルで、いろいろなスポーツに取り組む皆様と県民アンケートを踏まえて、理想のスポーツ施設を考える座談会を実施した。

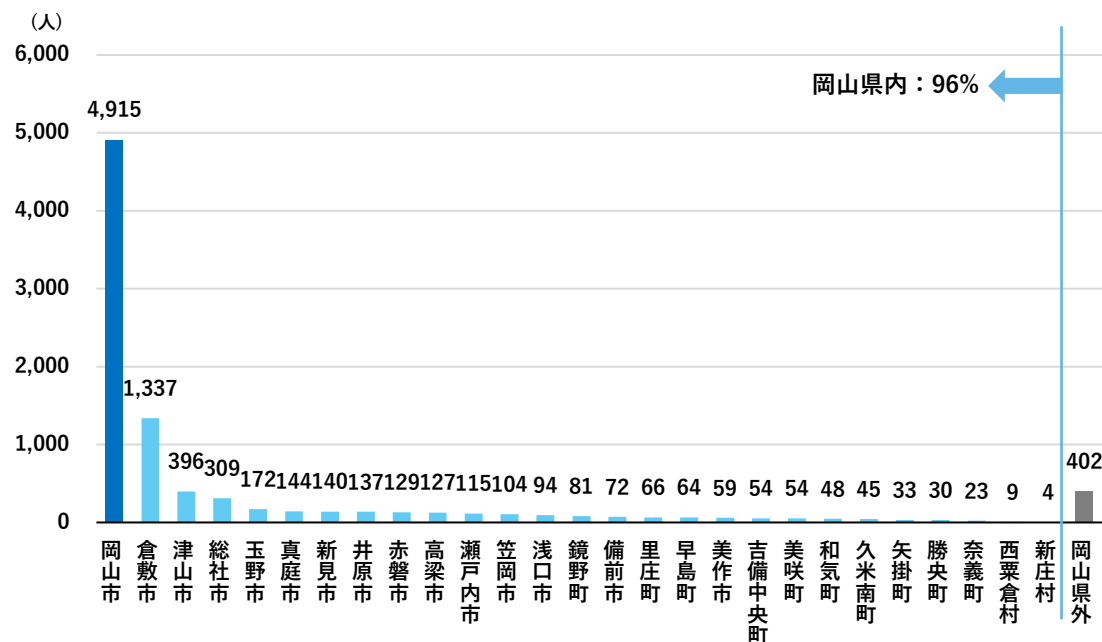


言葉を掛け合わせてアイデアを生み出すワーキング

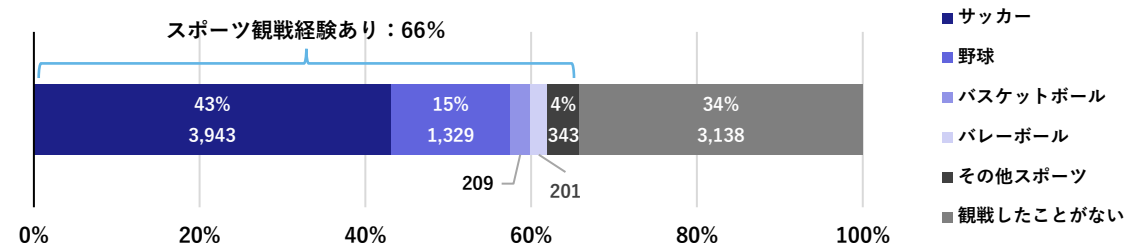
県民アンケート（速報） | 回答者の属性（1/2）

- 9割以上が岡山県内在住者であり、なかでも岡山市・倉敷市の在住者の回答が多い。なお自由記述の内容から、岡山県以外からの回答者の多くは県出身者や将来的に岡山に住む意思がある人が占めると考えられた。【グラフ①】
- 岡山県のうち岡山市在住者が約6割を占めるが、**岡山市以外の市町村からの回答者も満遍なく存在**する。【グラフ①】
- サッカーを最もよく観戦している人の割合が約4割を占める一方で、**他のスポーツを好きな人やスポーツ観戦をしない人からも多く回答が集まった**。【グラフ②】
- ファジアーノ岡山のファンだけでなく、好きなサッカーチームが無い人からも同程度**の回答が集まった。【グラフ③】

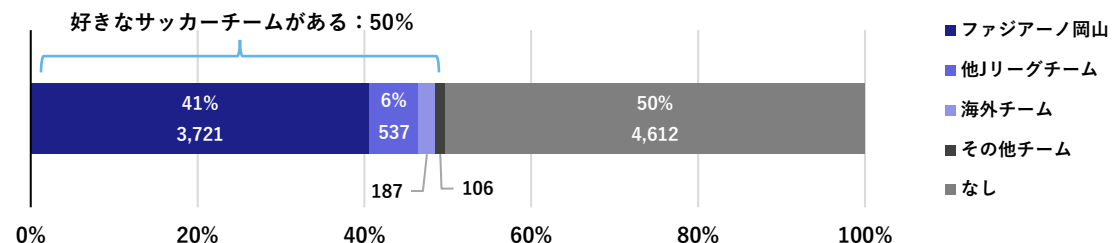
【グラフ①】 お住まいの場所



【グラフ②】 最も多く観戦しているスポーツ



【グラフ③】 好きなサッカーチーム

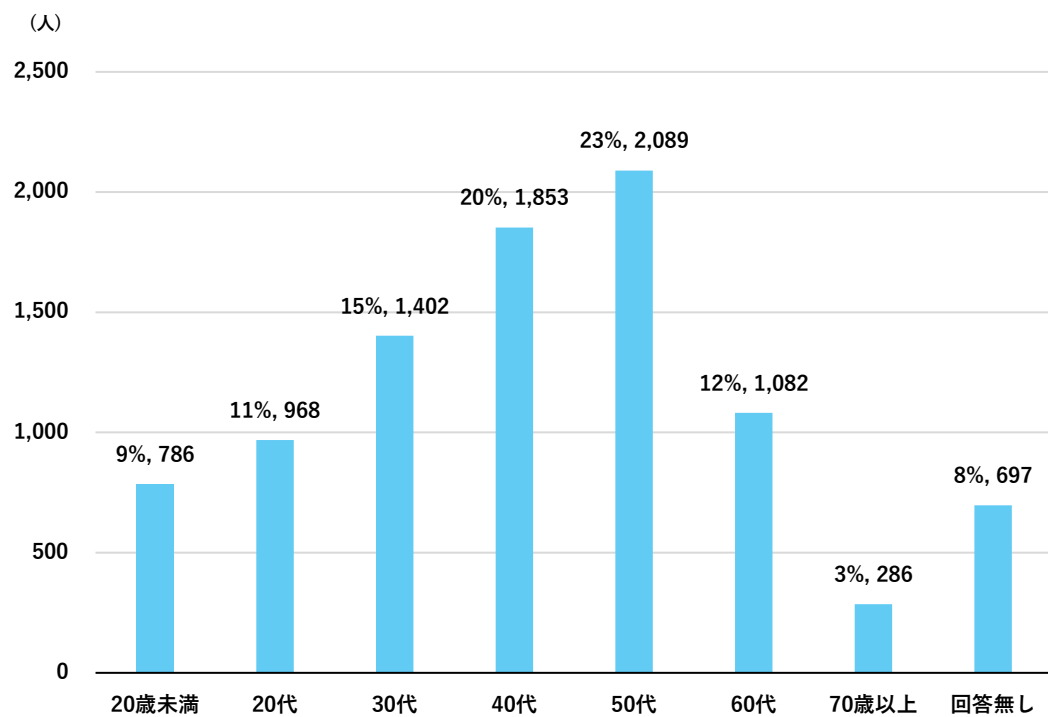


※ 7月17日時点の「フットボールスタジアムの整備に関する県民アンケート調査」回答内容（全9,163件）より事務局作成。

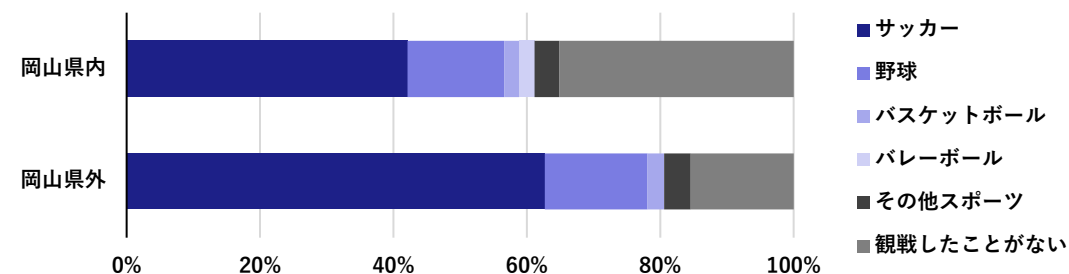
県民アンケート（速報） | 回答者の属性（2/2）

- 回答者のうち約半分は40代・50代が占めている一方、20歳未満の回答者が9%（786人）、70歳以上の回答者が3%（286人）と**幅広い年代からの回答を集める**ことができている。【グラフ④】
- 比較的に、**県外からの回答者の方が、サッカーやファジアーノ岡山と関係性のある人の割合が高い**。【グラフ⑤・⑥】

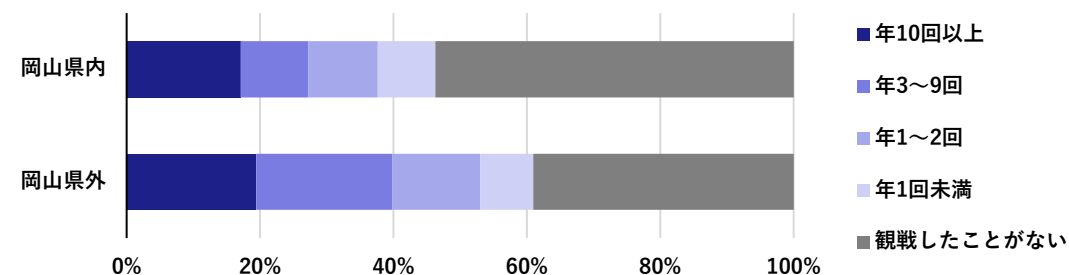
【グラフ④】 年齢



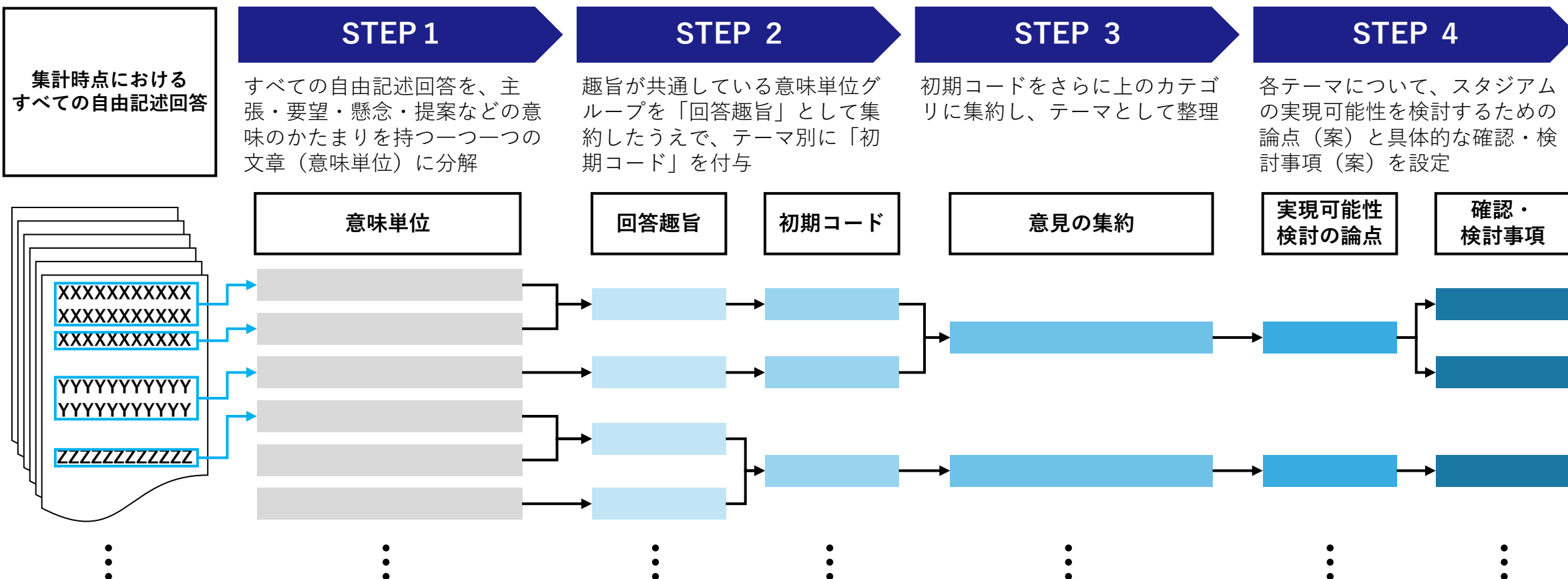
【グラフ⑤】 お住まいの場所×最も多く観戦しているスポーツ



【グラフ⑥】 お住まいの場所×ファジアーノ岡山の観戦頻度



県民アンケート（速報） | 自由記述の分析方法

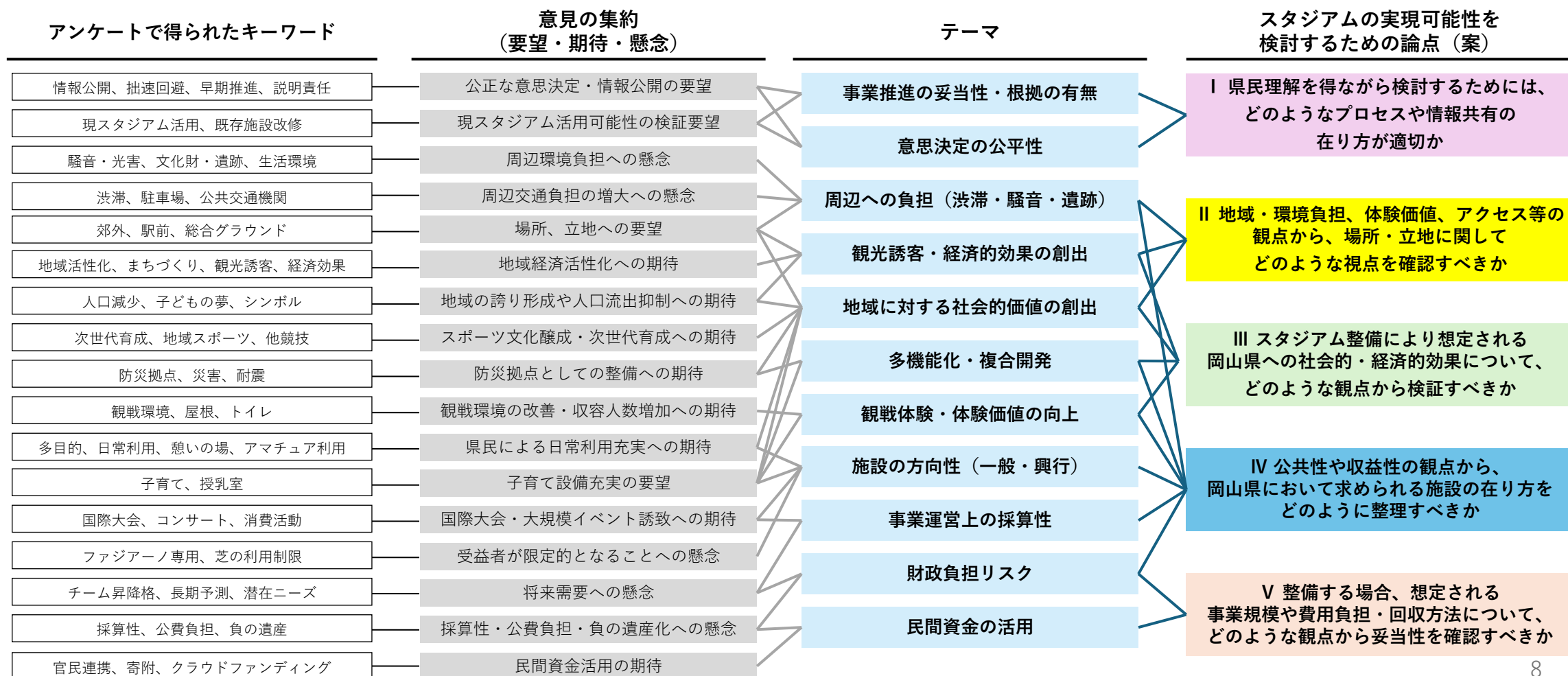


※分析方法に関する留意点

- 自由記述回答の分解・集約・テーマ付与・論点化・確認・検討事項の抽出にあたっては、適切な情報管理のもとで生成AIを活用した。

県民アンケート（速報） | 意見の構造化

- ・ 現時点で得られたアンケート回答の自由記述欄の内容を分析し、**意見を構造的に整理**した。
- ・ 抽出された論点は、**スタジアムの実現可能性の検討にあたり協議会での議題**として想定される。



県民アンケート（速報） | 自由記述から得られた考察

- 現時点のアンケート回答では、スタジアム整備に対する**賛成・反対の声だけでなく、懸念されている問題や期待する点、また具体的な提案に至るまで幅広い意見が集まっている**といえる。
- 今後の検討協議会では、各論点を「**実現可能性の取りまとめに向けた確認・検討事項**」に落とし込んだ上で、今回寄せられた**県民の方々の意見を踏まえて丁寧に議論**していくことが考えられる。

スタジアムの実現可能性を検討するための論点（案）

I 県民理解を得ながら検討するためには、どのようなプロセスや情報共有の在り方が適切か

II 地域・環境負担、体験価値、アクセス等の観点から、場所・立地に関してどのような視点を確認すべきか

III スタジアム整備により想定される岡山県への社会的・経済的効果について、どのような観点から検証すべきか

IV 公共性や収益性の観点から、岡山県において求められる施設の在り方をどのように整理すべきか

V 整備する場合、想定される事業規模や費用負担・回収方法について、どのような観点から妥当性を確認すべきか

実現可能性の取りまとめに向けた確認・検討事項（案）

プロセス・情報発信
の検討

県民参画の
在り方検討

場所・立地の比較検証

社会的効果の検証

経済的効果の検証

施設の在り方検討

事業収支の概算

整備費の概算

事業スキーム検討

必要性を
議論

参考事例調査 | 調査概要

調査の目的

- 県民アンケート（速報）より要望・期待・懸念として挙げた事項について、他のスタジアムやアリーナにおいて取り組まれている内容を初期的に調査することで、今後の検討協議会での議論に役立てることを目的とする。
- 本調査は、検討の視点を共有するための参考情報であり、岡山県における整備の方向性・導入方針を示すものではない。
- 各事例については今後必要に応じて深堀調査を行うこととする。

参考事例調査

I 県民理解を得る
検討の在り方

II 社会価値・環境負荷
など周辺への影響

III スタジアムがもつ
岡山県への社会的
・経済的効果

IV 岡山県にとって
望ましい公共性・収益性

V 適切な事業規模と
負担・回収方法

①公正な意思決定・情報公開

公正な意思決定・情報公開の要望

- いわきFC新スタジアム（福島県いわき市）では、**新スタジアムの在り方をテーマにワークショップ**を行い、意見を収集
- 安城市新アリーナ（愛知県安城市）では、**公開で審議会を実施**し、委員がアリーナの必要性等を公平な観点から**議論**



②既存環境の利活用検討

現スタジアム活用可能性の検証要望

- Uvanceとどろきスタジアム（神奈川県川崎市）は、**老朽化への対応**や**観戦体験の向上**に向けて既存の陸上競技場をサッカー専用競技場へ改修予定（陸上競技場別途整備）



③周辺環境への負担

周辺環境負担への懸念

- エディオンピースウイング広島（広島県広島市）では、**光害や騒音に配慮した設計**とするとともに、周辺環境への配慮も**鑑み鳴り物等の使用時間等を制限**

《全エリアで禁止される応援方法》

©SANFRECCE

- ◇試合前 および 試合後の「選手バス持ち」と、それに伴う太鼓・鼓笛の使用および声出し応援、旗類の使用
- ◇コンコースなど、観客席以外の場所での太鼓・鼓笛の使用および声出し応援、旗類の使用
- ◇サポーターシート・ビジターシート以外の座席や通路での、立ち上がりの観戦・応援
- ※指定席にて、ゴールシーン等で順調的に立ち上がることは禁止としませんが、後方・周囲のお客様へ十分ご注意ください。
- ◇鳴り物代わりにスタジアムの設備や便品を叩く行為
- ◇クラブおよび警備員が、試合運営および安全管理上の支障になると判断する行為
- ※改善が無視されない・影響が著しいと判断される場合、スタジアムから退場いただくなどの措置を取らせていただきます。
- ◇その他「サンフレッチェ広島試合運営管理規程」「観戦ルール＆マナー」「クラブ独自禁止事項」に定める禁止事項

④周辺交通への負担

周辺交通負担の増大への懸念

- まちなかに位置し、交通渋滞等が懸念されるエディオンピースウイング広島では、興行日は**公共交通機関の利用を促進し交通規制を実施**するとともに、**スタジアムの駐車場を利用不可**としている



©SANFRECCE



©SANFRECCE

参考事例調査

I 県民理解を得る
検討の在り方

II 社会価値・環境負荷
など周辺への影響

III スタジアムがもつ
岡山県への社会的
・経済的効果

IV 岡山県にとって
望ましい公共性・収益性

V 適切な事業規模と
負担・回収方法

⑤地域経済活性化への影響

地域経済活性化への期待

- エディオンピースウイング広島は、「世界に誇れるサッカースタジアム機能を核とし、多目的かつ多機能化した都心交流型スタジアム」をコンセプトにした「まちなかスタジアム」で、隣接する広場と連携し、**まちづくりや地域活性化**を目指す



©広島市



©SANFRECCE

⑥地域の誇り形成や人口流出抑制への影響

地域の誇り形成や人口流出抑制への期待

- PEACE STADIUM Connected by SoftBank（長崎県長崎市）では、スタジアムを中心に商業施設やオフィスが併設され、**まちのシンボル**としての役割を担うとともに、**利便性向上や雇用の創出による人口流出抑制**が期待



⑦スポーツ文化醸成・次世代育成への影響

スポーツ文化醸成・次世代育成への期待

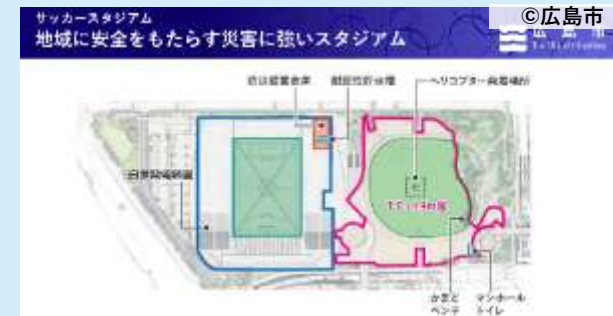
- NACK5スタジアム大宮（埼玉県大宮市）では、子どものスポーツ体験による成長をテーマに、**学童を対象としたスポーツ事業**（Omiya Xross Box）が実施



⑧防災対策による安心感への影響

防災拠点としての整備への期待

- エディオンピースウイング広島は**地域の防災拠点**として位置付けられている



参考事例調査

I 県民理解を得る
検討の在り方

II 社会価値・環境負荷
など周辺への影響

III スタジアムがもつ
岡山県への社会的
・経済的効果

IV 岡山県にとって
望ましい公共性・収益性

V 適切な事業規模と
負担・回収方法

⑨スポーツ観戦利用

観戦環境の改善・収容人数増加への期待

- パナソニックスタジアム吹田（大阪府吹田市）は、従来ガンバ大阪がホームスタジアムとしていた万博記念競技場（陸上競技場）に代わるスタジアムとして建設され、**観戦環境の改善**や**収容人数の増加**が実現



⑩県民による日常利用

県民による日常利用充実への期待

- PEACE STADIUM Connected by SoftBankには、多数の飲食店舗、ホテル、温浴施設やアクティビティ施設が設置されており、**県民による日常利用**を促進



⑪子育て・支援環境

子育て設備充実の要望

- サンガスタジアム by Kyocera（京都府亀岡市）では、スタジアム内に**保育園**や、**子どもを対象とした全天候型屋内遊び場**「KIRI no KO」を設置



⑫国際大会・大規模イベント誘致

国際大会・大規模イベント誘致への期待

- パナソニックスタジアム吹田では、**日本代表戦等の国際試合**や、有名アーティストの**大型ライブ**を開催

参考事例調査

- I 県民理解を得る
検討の在り方
- II 社会価値・環境負荷
など周辺への影響
- III スタジアムがもつ
岡山県への社会的
・経済的効果
- IV 岡山県にとって
望ましい公共性・収益性
- V 適切な事業規模と
負担・回収方法

⑬ 受益者が限定的となることへの懸念

受益者が限定的となることへの懸念

- パロマ瑞穂スタジアムでは、**コンコースのジョギングコースとしての開放**、かつて旧スタジアムの建設中発見された**遺跡に関わる展示**を行うおおぐま縄文ミュージアムの併設等、**公共性に配慮**



⑭ 将来需要への懸念

将来需要への懸念

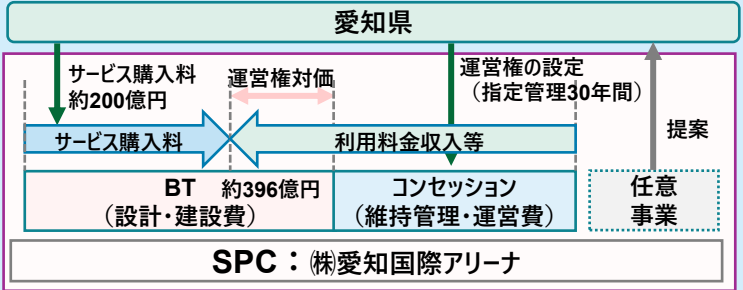
- アシックス里山スタジアム（愛媛県今治市）は、スタンド追加整備の余地を残して設計されており、収容人数を**段階的に拡張可能**



⑮ 採算性・公費負担・負の遺産化への懸念

採算性・公費負担・負の遺産化への懸念

- IGアリーナ（愛知県名古屋市）では、**PFI事業（BT+コンセッション方式）**を活用し、**維持管理・運営費を民間事業者の独立採算で賄うとともに、施設整備費の自治体負担を軽減**



⑯ 民間資金活用の期待

民間資金活用の期待

- 安城市新アリーナでは、建設団体が窓口となり**寄附を募集し、民間資金の活用**を促進



県民アンケート（速報） | 現段階での要旨

1

7月17日17時00分時点で、9,163件もの回答が得られており、**本件の注目度の高さ**がうかがえる。

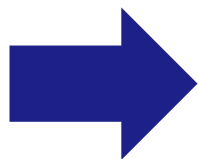
その属性を分析すると、**岡山県内の全市町村**の方が含まれており、また**サッカー・フアジアーノ岡山との関係性**という観点からも幅広い層の方が含まれていた。

2

アンケートの自由記述の内容を分析し、**意見のバリエーションを網羅的に把握**しつつ一定集約することで、現在県民の方々が**懸念している点**や、本件に対して**要望・期待する点**を抽出した。

3

上記で抽出した意見をカバーしつつ検討を進めるために、各意見をテーマごとに整理した上で、**スタジアムの実現可能性を検討するための論点（案）を導出し**、具体的な**確認・検討事項（場所、立地の比較検証、社会的・経済的効果の検証、事業収支の概算、事業スキーム検討など）を仮説的に設定**した。



今後は、7月24日までの回答をすべて反映させた上で、引き続き分析・考察を進め、次回検討協議会においてその結果を改めて示す予定。

動員数分析 | Jリーグ利用を踏まえた適正規模

分析の結論

- Jリーグ利用を想定した場合のスタジアムの適正規模を検証したところ、スタジアム規模としてはおよそ**19,600～25,600席程度**が適正なレンジと考察された。
- 今回の分析はあくまでも**Jリーグホーム戦利用のみを前提**としているが、Jリーグホーム戦以外での利用や整備候補地の条件、整備費等も考慮した上で、**引き続き多面的な分析が必要**である。

【Jリーグ将来動員需要の推定】

2050シーズンの動員需要…16,700～19,200人

Jリーグの他チームにおける実際のデータに基づいて、客観的にファジアーノ岡山の将来動員需要を推定（次頁参照）

【Jリーグ収容率水準の推定】

適切な収容率水準…75～85%

シーズン内の観客動員数の変動を吸収し、機会損失を最小化できる収容率（最大収容規模に対する年間平均動員数の比率）の水準※1

【Jリーグ利用を踏まえた適正規模】

19,600～25,600席程度

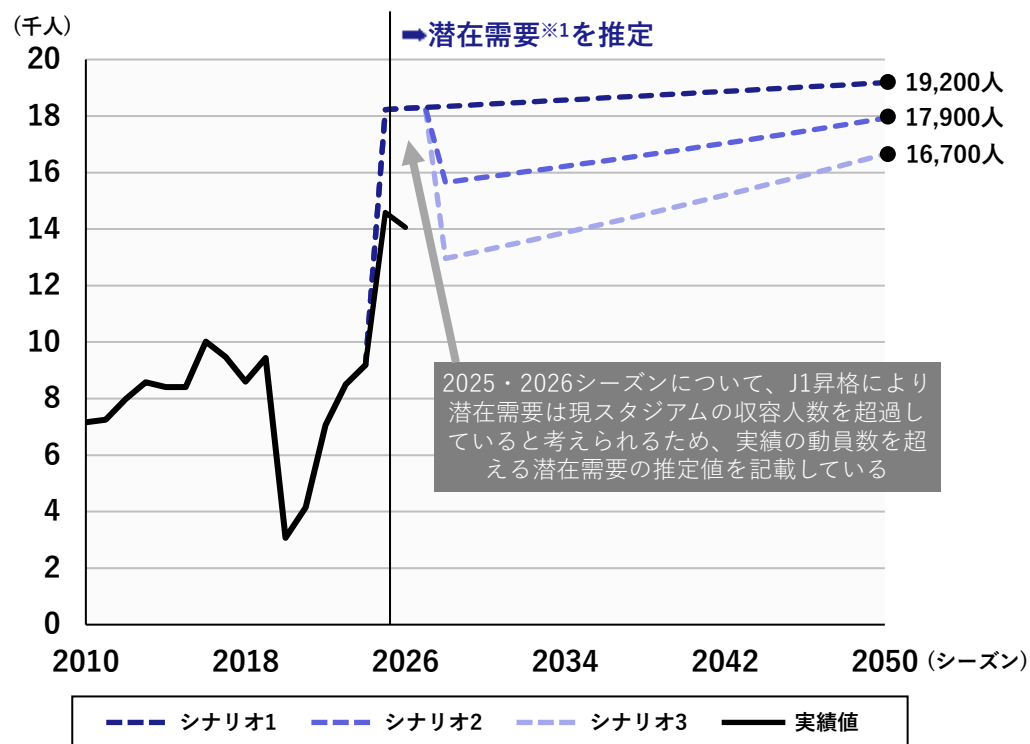
Jリーグホーム戦以外での利用や、整備候補地の条件、整備費等の観点も考慮した多面的な分析が引き続き必要

※1：Jリーグ動員需要の同一シーズン内における増減幅や、他チームにおける新スタジアム開業後の収容率水準等のデータを分析することで推定。

動員数分析 | 将来動員数の推定

- 他チーム・リーグの実績分析に基づき**複数シナリオにおけるファジアーノ岡山の将来動員数**を推定した。
- 推定された動員規模は、**J1・J2における各ベンチマーク事例の動員数の範囲**に収まった。

Jリーグ将来動員数の推定結果



Jリーグ将来動員数の推定方法

▼シナリオの設定

シナリオ1	2025シーズンのJ1昇格後、2050シーズンまでJ1を維持
シナリオ2	2028シーズン以降、昇降格を繰り返すシナリオ（1と3の平均に収束）
シナリオ3	2025シーズンのJ1昇格後、2028シーズンにJ2に降格し、その後J2を維持

▼動員数に影響する項目と推定方法

動員数に影響する項目	推定方法
J1昇格時の需要増加	他チーム昇格時の動員需要増加率を分析して推定
J2降格時の需要減少	他チーム降格時の動員需要減少率を分析して推定
長期成長率	J1・J2の需要増加実績と岡山県人口予測より推定

▼ベンチマークとなる事例※2

ベンチマーク事例		2050シーズンにおける推定動員数
J1	広島、京都、新潟、神戸、清水	18,000～28,000人
J2	長崎、仙台、大分、磐田、鳥栖	12,700～18,700人

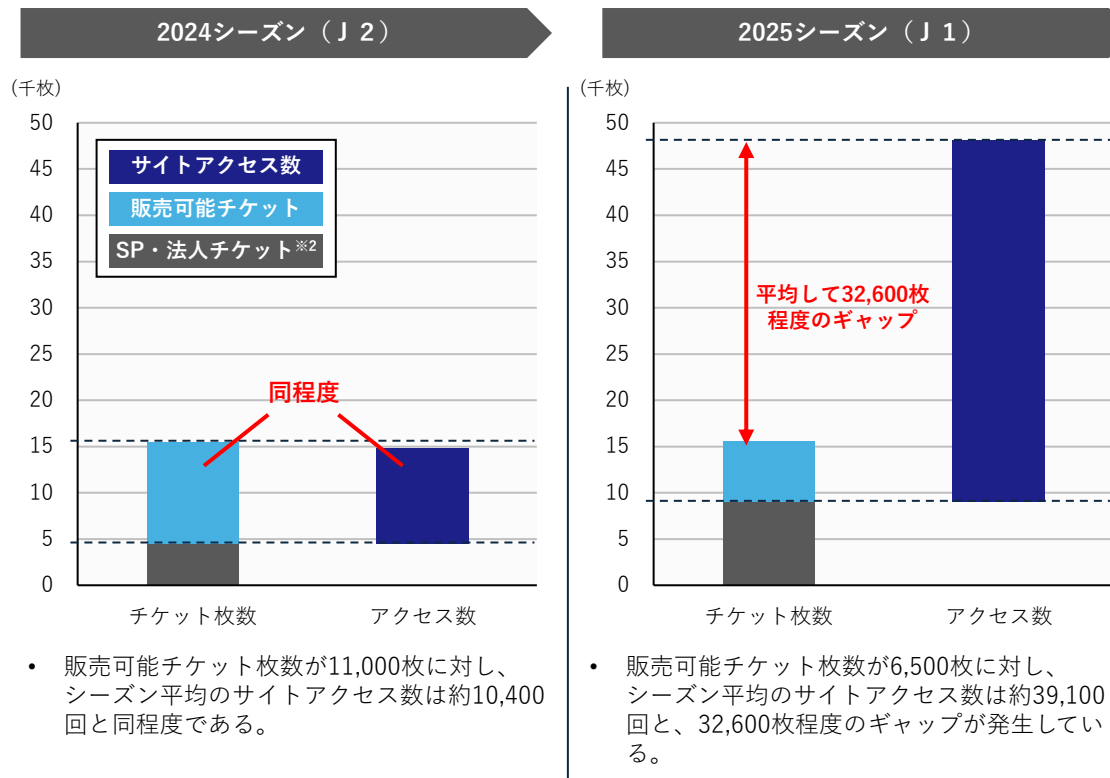
※1：2025シーズン以降は、スタジアムの収容人数によらない潜在需要を推定しているため、2025シーズン・2026特別シーズンにおける動員数の実績値を超過した水準となっている。

※2：ベンチマーク事例は、商圈規模やスタジアム立地特性、クラブの沿革・成績、スタジアムの規模などを総合的に考慮して選定した。また将来予測においては、長期成長率を考慮した。

動員数分析 | その他の参考データ (需要推定には用いていないデータ)

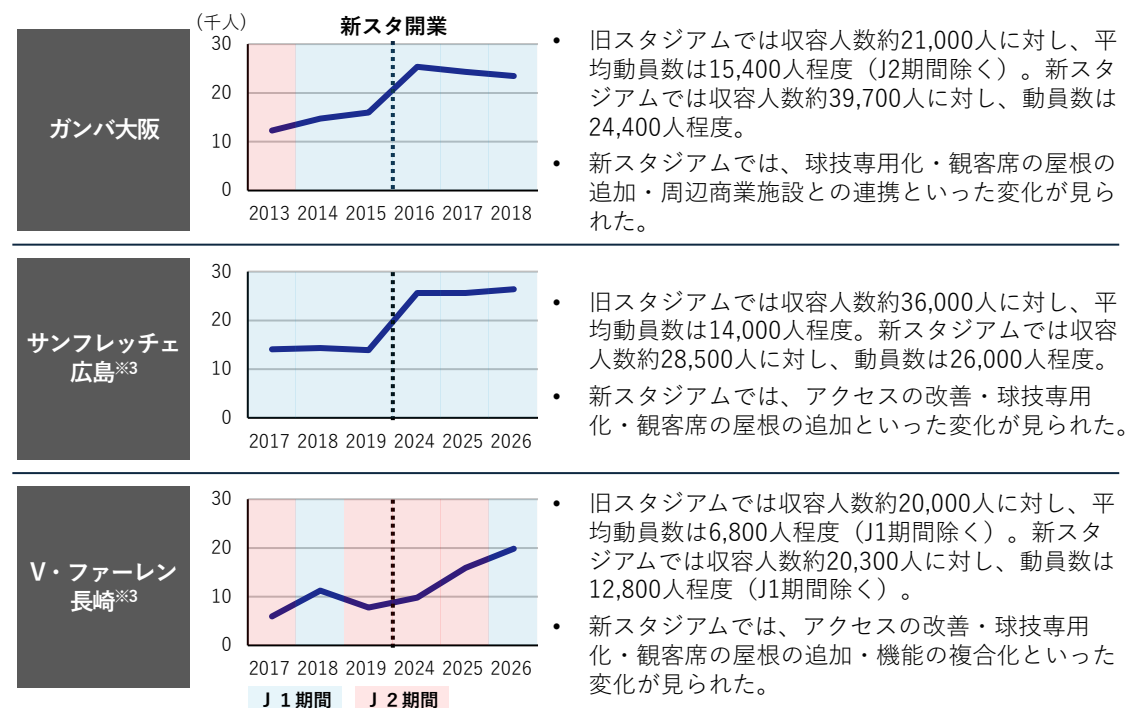
現在のファジアーノ岡山における潜在需要

- J1昇格後、ファジアーノ岡山のチケット販売サイトへのアクセス数※1は急増しており、**潜在需要は現在のスタジアム収容人数を大きく上回っている可能性**がある。(将来動員需要の推定においては考慮していない)



スタジアム整備による動員需要の増加

- 他チームにおける新スタジアム導入事例を分析すると、**スタジアム開業後は動員数が増加**する傾向にある。(将来動員需要の推定においては考慮していない)
- 動員数増加の要因としては、キャパシティの拡大だけではなく、**アクセスや観戦体験、立地、機能の複合化等による動員需要自体の底上げ**も実現されている可能性が高い。



※1：ぴあ株式会社及び株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブから取得したデータを基に事務局作成。同一ユーザーによる同一端末からのアクセスが重複しても1カウントとなる。

※2：SPはシーズンパスのこと。

※3：2020～2023シーズンの動員数データはコロナ禍の影響を受けているため、分析・グラフから除外している。

第4回会議

- 開催日 : 令和8年8月25日 (火)
- 開催場所 : 岡山県庁分庁舎4階企業局大会議室